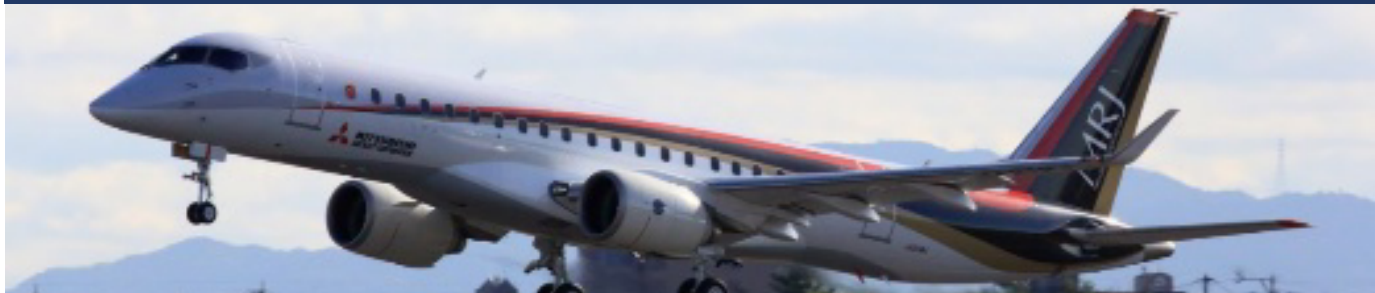


3 仕事と収入の確保 ～経済の自立～



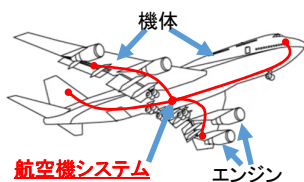
【基本目標3】
地域の資源・人材を活かした産業構造を構築することにより、仕事と収入を確保します。

主な取組

成果

(1) 経済構造の転換

- 「長野県航空機産業振興ビジョン」を策定（H28年5月）し、航空機産業への参入を支援



- 世界と競争できる「世界水準の山岳高原リゾート」を目指した「観光地域づくり」の推進
独自の価値（山岳高原）を活かした観光地域づくりに向け「観光地域づくり推進方針2017」を策定

方針1	推進体制強化
方針2	発信力強化
方針3	観光投資促進
方針4	人材育成確保
方針5	インフラ・受入環境整備

- 「アジアの航空機システム拠点」形成
 - ・人材育成、研究開発、実証試験までの一貫体制構築
 - ・航空機産業参入企業100社の集積（H32目標）

- 全庁を挙げた観光振興に向け、「長野県観光戦略推進本部」を設置（H28年6月）
- 観光地域経営を担う舵取り役としての県DMOの構築
 - ・（一社）信州・長野県観光協会が、DMO候補法人として登録（H28年2月）
 - ・名称を（一社）長野県観光機構と改め、本格的なDMO化に向けてスタート（H28年7月）

主な取組

成果

(1) 経済構造の転換

- 長野が誇る「シナノゴールド」
イタリアでライセンス栽培
平成28年3月イタリアでの大規模栽培
に向け「品種シナノゴールド及び商標
に関するライセンス契約」を締結



シナノゴールド

- ジビエといえば“信州”を目指して

安全安心 信州産シカ肉認証制度 (H26年2月創設)
安全、安心な獣肉を安定的に供給

消費拡大 ブランド力強化

人材育成 信州ジビエマイスターの養成

- 平成28年11月 南チロル
ボルツァーノ開催のりんごに関する
国際見本市「インターポマ2016」で
品種「シナノゴールド」の
商標yello®を広くPR



南チロル
イタリア北部に位置し、標
高200~1,000mで
りんごを栽培

- シカ肉処理施設3施設を認証し、統計
開始以来最高の26.8tを生産

(H29年3月末)

- JR東日本と連携した
信州ジビエフェアの開催

(H28年11月~29年2月)

首都圏にもジビエをPR



「信州ジビエフェア」
キックオフイベント

- 適切な処理でおいしいジビエ料理を
提供できる調理人等の養成

91名養成 (H29年3月末)

主な取組

成果

(1) 経済構造の転換

- しあわせ信州食品開発センター (H27
年4月設置) による新食品開発支援

- 新規発電所 (高遠さくら、水芭蕉発電所) の
建設 (H29年4月稼働) 及び大都市への売電



高遠さくら発電所



水芭蕉発電所

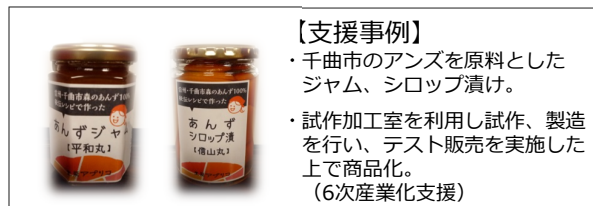
- 県営発電事業の利益による
自然エネルギー地域基金の創設

- 収益納付型補助金による
自然エネルギー事業の創出支援

(H27年度~)

- 長野県の強みを生かした高付加価値
食品を創出 152件

(H27年4月~H29年3月)



【支援事例】

- ・千曲市のあんずを原料とした
ジャム、シロップ漬。
- ・試作加工室を利用し試作、製造
を行い、テスト販売を実施した
上で商品化。
(6次産業化支援)

- 新規発電所の電気を「信州発自然エネ
ルギー」として大都市の需要家に売電

⇒ 大都市との未来志向の連携により、
地方創生に寄与

- ・売電先 : 世田谷区立保育園(41園)、
大阪・名古屋の企業等
- ・発電量 : 6,316千kWh増 (約1,750世帯分)
- ・年間利益 : 約8,500万円 (一部を地域貢献に活用予定)

- 自然エネルギー地域基金の活用

⇒ 県営発電事業の利益を繰出し

(H26~28総額 5億円)

⇒ 自然エネルギー発電事業を支援 18件

(H28年度末累計)

(2) 経済の自立的発展を支える担い手の確保

○ 県出身学生の地元就職促進の取組

イベントに参加するUターン
就職促進協定締結校の学生



○ 次世代のものづくり産業を支える
若者を育成する「信州ものづくり
未来塾」の開催(H28.4～)

(主な実施講座)

時計組立、光学機器組立、建築大工、
かわらぶき、左官、茅葺、信州紬、
飯山仏壇(彫刻)、フラワー装飾
洋菓子製造、みそ製造 etc



○ 県出身学生の多い大学とのUターン
就職促進協定の締結

協定締結校

3校 (H22) → 41校 (H28)

○ ジョブカフェ信州「銀座サテライト」
(H28年10月開設) 利用者数 125人

○ ポータルサイト

「シューカツNAGANO」を開設

(H29年3月)

長野県に戻って就職を希望する学生に
対して県内企業情報や就活イベント
情報などを提供

○ 信州ものづくりマイスター等による
キャリア教育を実施

小・中学校、高等学校等で

86講座 1,659人受講 (H28年度)

数値目標の進捗状況

*進捗区分

●「A」：目安値以上

●「B」：80%以上100%未満の進捗

●「C」：80%未満の進捗

●実績値なし：今年度実績値が把握できない

・進捗割合=(実績値-基準値)/(目安値-基準値)

・目安値：各年の目標値

労働生産性	年度	単位	基準値 (H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	目標 (H29年度)
県民経済計算 (企画振興部) 【備考】 全産業の県内総生産 (実質)を県内就業者 数で除した数値 [H31年度の実質経済 成長率2%を目標に設 定] 注) 県民経済計算の結果 が2年遅れで公表	目安値	千円/人		8,054	8,095	8,137	8,178	8,220
	実績値		7,866 (8,012)	8,039 (8,077)	8,084			
	進捗区分			A	B			

※実績値の()内は、労働生産性の算出基礎となる県民経済計算の遡及改定前の値により算出した値

就業率	年度	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
労働力調査モデル推計 値 (総務省統計局) 【備考】 15歳以上人口に占める 就業者数の割合[過去5 年間の1位の数値の平 均値をもとに設定]	目安値	%		59.6	59.7	59.8	59.9	60.0
	実績値		59.5	60.4	60.6			
	進捗区分			A	A			

進捗状況の分析

- 「労働生産性」については、算出基礎となる県民経済計算が遡及改定され、基準値が目標設定時よりも低く算出されたため目安値には達しませんでした。前年値を上回り概ね順調に推移しています。
- 「就業率」については、目安値を上回り、全国順位も昨年の第5位から第4位に上昇するなど順調に推移しています。
- 引き続き、地域の資源・人材を活かした経済構造への転換、経済の自立や発展を支える担い手の確保に向けた施策を推進します。

重要業績評価指標(KPI)の進捗状況

※進捗区分 ●「A」: 目安値以上 ●「B」: 80%以上100%未満の進捗
 ●「C」: 80%未満の進捗 ●実績値なし: 今年度実績値が把握できない
 ・進捗割合=(実績値-基準値)/(目安値-基準値) ・目安値: 各年の目標値

指標名	年度	単位	基準値 (H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	目標 (H29年度)
製造業の労働生産性 県民経済計算(企画振興部)	目安値	千円/人		12,054	12,265	12,477	12,688	12,900
	実績値		11,479 (11,842)※	11,876 (12,135)※	12,578			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組	(今後の取組) 引き続きものづくり産業振興戦略プランに基づき、次世代産業の創出や有望市場の開拓、戦略的な企業誘致や産業人材育成などに取り組み、稼ぐ力の向上を図ります。 ※実績値の()内は、労働生産性の算出基礎となる県民経済計算の遡及改定前の値により算出した値						
指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
鉱工業生産指数 長野県鉱工業指数(企画振興部)	目安値	-		94.6	95.7	96.8	97.9	99.0
	実績値		93.5	90.4	91.4			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組	(現状分析) H28年は、H27年と比べ1.1%増となり、雇用環境の改善や為替相場が円安傾向となった年後半を中心に緩やかに持ち直しの動きが見られています。電気機械、食品工業で増加しているものの、電子部品・デバイス工業は引き続き生産、出荷ともに低下しており目安値には達しませんでした。 (今後の取組) 航空機産業や食品産業など、県内産業の強みを活かした成長期待分野への転換支援や新たな産業の創出を図るとともに、有望市場の開拓、産業人材の育成・確保などに取り組み、足腰の強い県内産業の確立を図ります。						
指標名	年	単位	基準値 (H25年)	H26年	H27年	H28年	H29年	目標 (H30年)
加工食品の輸出額 (産業労働部調)	目安値	億円		27	35	43	51	59
	実績値		18.8	29	31.4			
	進捗区分			A	C			
	現状分析・今後の取組	(現状分析) H27年(速報値)では、円安基調にあり昨年に比べ輸出額が増加したものの、目安値には達しませんでした。 (今後の取組) 海外における食品見本市や長野フェア等への出展支援を行うとともに、ネットワーク会議での情報共有により官民の連携を強化し、県内企業の輸出を促進します。						
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
実用化等成果事例件数 (産業労働部調)	目安値	件 (累計)		40	80	120	160	200
	実績値		32	46	99			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組	引き続き、共同研究、研究開発コーディネートを通じ、県内企業の技術課題解決を支援します。						

指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
窓口支援担当者による知財相談対応件数 (産業労働部調)	目安値	件 (累計)		1,600	3,200	4,800	6,400	8,000
	実績値		1,762	1,799	3,631			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 引き続き、新技術・新製品開発の成果として得られた特許や、県内企業が保有する優れた知的財産等の保護・活用を支援します。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
企業の技術相談件数 (産業労働部調)	目安値	件		17,447	17,585	17,723	17,862	18,000
	実績値		17,309	18,161	18,347			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 引き続き、企業の技術課題解決に積極的に取り組みます。					
指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
農業の単位面積当たり生産性 (農政部調)	目安値	万円/ha		257	258	259	260	261
	実績値		256	268	269			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 引き続き、消費者ニーズを的確に捉えて、需要に見合った計画生産などに取り組みます。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
担い手への農地利用集積率 (農政部調)	目安値	%		46	50	53	56	58
	実績値		41	41	41			
	進捗区分			B	B			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 市町村農業委員会が進める農地利用の最適化を支援するとともに、果樹地帯における樹園地継承を推進し、担い手への農地の集積を進めます。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	目標 (H29年度)	※H30年度以降の目標値は次期農業農村振興計画策定にあわせて設	
農産物等の輸出額 (農政部調)	目安値	千円		200,430	315,700	500,000		
	実績値		206,000	386,170	563,656			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 海外で需要の高い「ぶどう」などの果物を中心に、「長野県農産物等輸出事業者協議会」の活動支援を通じ、輸出量の拡大を図ります。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	目標 (H29年度)	※H30年度以降の目標値は次期農業農村振興計画策定にあわせて設定予定	
6次産業化事業計画認定件数 (農政部調)	目安値	件		92	93	94		
	実績値		91	91	93			
	進捗区分			C	A			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 「信州6次産業化推進協議会」を中心に、研修会の開催や相談対応等により、6次産業化を目指す事業者を支援します。					

指標名	年	単位	基準値 (H25年)	H26年	H27年	H28年	H29年	目標 (H30年)
林業における労働生産性 (林務部調)	目安値	m ³ /人日		5.22	5.29	-	-	全国平均 以上
	実績値		3.72	3.82	4.10			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 路網整備や機械導入などの条件整備が進んだことにより平成26年度より生産性は向上したものの、間伐と比べて労働生産性の高い主伐 [※] の事業量が少なかったことから、目安値に達しませんでした。 ※主伐とは、利用期に達し成熟した立木を、収穫するために伐採すること。 (今後の取組) 労働生産性は着実に向上していることから、引き続き路網整備や機械導入などの条件整備を進めるとともに、低コスト一貫作業システム導入によるコスト縮減などにも取り組むことにより目標達成を目指します。					
指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
素材(木材)生産量 木材統計(農林水産省) 木質バイオマスエネルギー利用動態調査等(林務部調)	目安値	千m ³		600	605	610	655	700
	実績値		437	501	498			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 予定していた信州F・POWERプロジェクトの木質バイオマス発電所の稼働が4年遅れることになったことにより、目安値を下回った。 (今後の取組) さらなる生産量の増加を目指して、原木の安定供給体制の構築、林業経営基盤の整備、様々な用途への県産材利用をより一層進める。					
指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
高性能林業機械保有台数 (林務部調)	目安値	台		318	332	346	360	375
	実績値		288	303	-			
	進捗区分			C	実績値なし			
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 国調査の公表が3月の予定のため実績値はありませんが、前年度の増加台数や林業事業者の人材育成や事業規模拡大には一定の時間を要することを踏まえると、目安値には及ばない見込みです。 (今後の取組) 林業生産性の向上には高性能林業機械の導入が不可欠であることから、導入に対する支援や林業労働財団等からのレンタルにより保有台数の増加を推進します。					
指標名	年度	単位	基準値 (H25年度)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	目標 (H30年度)
雇用保険適用事業所開業率 雇用保険事業年報(厚生労働省)	目安値	%		3.74	4.01	4.27	4.54	4.81
	実績値		3.47	3.81	3.97			
	進捗区分			A	B			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 引き続き、相談窓口での対応や学生を対象にしたアントレプレナー育成事業を実施します。また、今年度新たに民間事業者のノウハウを活かした各種創業セミナー・イベントを開催し、県内の創業機運を高め、開業率の向上につなげます。					

指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
創業支援資金利用件数 (産業労働部調)	目安値	件 (累計)		720	1,440	2,160	2,880	3,600
	実績値		741	896	1,999			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 金融機関、ながの創業サポートオフィス等、関係機関の窓口で資金に関する利用方法を周知し、引き続き利用の円滑化を促進します。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
ながの創業サポートオフィス 相談件数 (産業労働部調)	目安値	件 (累計)		500	1,000	1,500	2,000	2,500
	実績値		221	415	924			
	進捗区分			C	B			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 県主催のセミナー・イベントに相談員が積極的に出かけ、出張相談を実施します。また、コワーキングスペースとの連携をさらに進めるとともにFacebook等を活用して引き続き「ながの創業サポートオフィス」を周知します。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
事業引継ぎ支援センター相談 件数 (産業労働部調)	目安値	件 (累計)		400	800	1,200	1,600	2,000
	実績値		302	463	1,019			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 東京と名古屋での転職フェアへの出展に加え、事業承継促進セミナーを県内外で開催するほか、県内でラジオCMを流し、引き続き事業承継、後継者バンクを周知します。					
指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
観光消費額 観光入込客統計(観光庁)	目安値	億円		6,768	6,971	7,180	7,396	7,618
	実績値		6,571	7,410	7,320			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 「信州デスティネーションキャンペーン」等の機会を最大限活用して、誘客促進及び滞在拡大を図るとともに、地域経済を支える様々な産業と観光を繋げて地域の活性化に取り組む「観光地域づくり」を進めます。					
指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
延べ宿泊者数 宿泊旅行統計調査(観光庁)	目安値	万人		1,844	1,899	1,956	2,015	2,075
	実績値		1,790	1,921	1,780			
	進捗区分			A	C			
	現状分析・今後の取組		(現状分析) H28年の全国延べ宿泊者数は前年を下回っており、長野県内においても善光寺御開帳等の大型イベントの反動減や天候不順等の影響により、目安値に達しませんでした。 (今後の取組) 「信州デスティネーションキャンペーン」等の機会を最大限活用して、誘客促進及び滞在拡大を図るとともに、地域経済を支える様々な産業と観光を繋げて地域の活性化に取り組む「観光地域づくり」を進めます。					

指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
外国人延べ宿泊者数 宿泊旅行統計調査(観光庁)	目安値	万人		92.8	119.6	146.4	173.2	200
	実績値		66	94.7	113.5			
	進捗区分			A	B			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) これまでのターゲット(東アジアや東南アジア)に加え、欧米市場や新興市場(フィリピン、ベトナム)でのプロモーション活動を進め、現地の主要旅行会社等との連携を強化しながら、引き続き、外国人旅行者の誘客拡大を図ります。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
発電設備容量でみるエネルギー自給率 (環境部調)	目安値	%		86.0	93.0	100.0	108.0	116.0
	実績値		78.9	80.3	91.0 (暫定値)			
	進捗区分			C	B			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 自然エネルギーの導入拡大のため、地域で担い手となる人材の育成等や環境エネルギー分野の産業化を促進する。 また、環境エネルギー性能等の検討制度、信州型住宅リフォーム助成金等により、建物の省エネルギー化を促進する。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
原産地呼称管理制度認定製品の認定品数 (産業労働部調)	目安値	品		304	309	315	321	330
	実績値		300	297	288			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 事業者の新規申請が増えないため、認定品数が伸び悩んでいます。 (今後の取組) 事業者の参加を促すため、申請書類の簡素化など申請しやすい環境づくりに努めるとともに、認定メリットが実感できるように消費者への制度PRを強化します。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
新食品開発支援件数 (産業労働部調)	目安値	件		35	39	42	46	50
	実績値		31	35	44			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 「しあわせ信州食品開発センター」を活用した付加価値の高い食品開発・試作を積極的に支援します。					
指標名	年度	単位	基準値 (H24年度)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	目標 (H29年度)
第3次産業の労働生産性 県民経済計算(企画振興部)	目安値	千円/人		7,700	7,707	7,715	7,722	7,730
	実績値		7,583 (7,692)※	7,622 (7,655)※	7,459			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 全国の第3次産業の労働生産性は低下(H25 7,608千円/人→H26 7,520千円/人)しており、当県でも、不動産業を除き、各業態で低下しています。特に全国の水準より低い情報通信、運輸、卸売・小売を中心に全体の底上げが必要です。 (今後の取組) 平成27年3月に策定した「長野県サービス産業振興戦略」について、過去の実績や成果を踏まえて見直しを行い、第3次産業の生産性向上を目指します。 ※実績値の()内は、労働生産性の算出基礎となる県民経済計算の遡及改定前の値により算出した値					

指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
おためし移住件数 (産業労働部調)	目安値	件 (累計)		8	20	32	44	56
	実績値		-	8	19			
	進捗区分			A	B			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 首都圏等のIT人材や企業に対して、県内で生活し働く「おためし」の機会を提供する「ときどき&おためしナガノ」を継続することで、首都圏等からのITを中心としたクリエイティブ人材や企業の移住・拠点開設の素地を作ります。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
子育て期に再就職した女性 (産業労働部調)	目安値	人 (累計)		200	400	600	800	1000
	実績値		—	477	1,053			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 就業相談やセミナーなどの支援のうち、就職につながる効果が高い、短期インターンシップによる支援を強化し、引き続き希望に応じたきめ細やかな支援を実施します。					
指標名	年度	単位	基準値 (H27年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標 (H32年度)
県内出身学生のUターン就職率 U・Iターン就職状況等に関する調査 (企画振興部・産業労働部調)	目安値	%		39.4	40.8	42.2	43.6	45.0
	実績値		38.0	37.8	—			
	進捗区分			C	実績値なし			
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 大学生等の就職内定率が年々高まるにつれて、Uターン就職率は低下傾向にあり、目安値の達成が困難であることが想定されます。なお、平成28年度の内訳では、Uターン就職促進協定校出身学生のUターン就職率は40.8%と、その他学生の36.7%を上回っており、取組の成果が伺えます。 (今後の取組) Uターン就職促進協定校との連携を始め、平成28年度末に開設したポータルサイト「シューカツNAGANO」による学生や保護者に対する情報発信、県外学生の県内企業でのインターンシップ参加に係る経費の助成、学生と企業との出会いの場の創出の取組等を通じて、県内企業の魅力の理解促進を図り、Uターン就職の促進に取り組みます。					
指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
法定雇用率適用企業で雇用される障がい者数 長野県内の「障害者雇用状況」の集計結果(長野労働局)	目安値	人		5,730	6,010	6,300	6,580	6,864
	実績値		5,448	5,603	5,804			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組		(現状分析) ハローワークを通じた障がい者の就職件数は、7年連続で過去最高を更新しているものの、精神障がい者の雇用に対する不安など、企業側の理解が十分に進んでいない状況があり、そのため目安値には達しませんでした。 (今後の取組) 平成30年度から、精神障がい者が新たに法定雇用率算定の対象となりますが、企業側の不安も大きいと、障がい者の雇用応援減税のPRや労働局と連携した事業所への働きかけを行うとともに、障がい者と企業の出会いの場創出事業によるセミナー等を通じて積極的に企業の理解促進に向けた取組を進めます。					

指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
70歳以上まで働ける企業の割合 高年齢者の雇用状況(厚生労働省)	目安値	%		23.3	24.2	25.1	26.0	27.0
	実績値		22.4	24.0	24.4			
	進捗区分			A	A			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 人生二毛作社会の仕組みづくりの推進等により、高齢者が元気で働ける気運の醸成や雇用の促進に取り組みます。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
事業活動に農業を取り入れている障がい者就労施設数 (健康福祉部調)	目安値	施設		107	120	134	147	160
	実績値		94	105	115			
	進捗区分			B	B			
	現状分析・今後の取組		(今後の取組) 引き続き、農業者と障がい者就労施設との仲介や農作業の技術指導を行うサポーターの派遣等を行い、農業に取り組む就労施設の更なる増加を図ります。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
職業能力開発施設卒業生の県内就職率 (産業労働部調)	目安値	%		88.0	88.5	89.0	89.5	90.0
	実績値		87.5	85.1	87.7			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 県が運営する職業能力開発施設について、多くの訓練科で県内就職率は向上しましたが、県外出身者の多い木工系の分野で県内就職率が低下し、全体として目安値に達しませんでした。 (今後の取組) 県内企業との面接会やインターンシップの強化に加え、県外出身者の多い木工系の訓練科については、地元市町村や関係機関との連携を密にし県内就職率向上に取り組みます。					
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
県内専門学校卒業生の県内就職率 (県民文化部調)	目安値	%		87.8	88.3	88.9	89.4	90.0
	実績値		87.2	81.6	84.2			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組		(現状分析) 看護、福祉など資格養成を目的とする専門学校は高い県内就職率を維持していますが、衛生、文化・教養、商業実務分野での県内就職率が下がり、全体として目安値に達しませんでした。 (今後の取組) 「職業実践専門課程」の認定促進や、長野県で暮らし、働く魅力の発信を関係部局が連携して行うことなどにより学生の県内企業への関心を高め、県内就職率の向上を図ります。					

指標名	年	単位	基準値 (H26年)	H27年	H28年	H29年	H30年	目標 (H31年)
一般労働者の総実労働時間 毎月勤労統計調査(厚生労働省)	目安値	時間/人		2,032	2,029	2,026	2,023	2,020
	実績値		2,035	2,030.4	2,031.6			
	進捗区分			A	C			
	現状分析・今後の取組	<p>(現状分析) 「製造業」では減少しましたが、「卸売業、小売業」、「医療、福祉」で労働時間が増加しており、全体として前年より労働時間が増加しました。 (今後の取組) 長時間労働の削減、年次有給休暇の取得促進や多様な働き方制度の普及促進に向けた課題解決のための各事業所の取組を国とともに支援する等、働き方改革の推進に取り組めます。</p>						
指標名	年度	単位	基準値 (H26年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標 (H31年度)
職場いきいきアドバンスカンパ ニー認証企業数 (産業労働部調)	目安値	社		40	100	134	167	200
	実績値		—	11	56			
	進捗区分			C	C			
	現状分析・今後の取組	<p>(現状分析) 認証制度周知の取組や企業訪問を行うアドバイザーの補強などにより、昨年度を大きく上回る企業が認証されましたが、目安値を達成できませんでした。 (今後の取組) 引き続き積極的な企業訪問を実施するとともに、新たなインセンティブとして、県主催の合同企業説明会への優先参加枠を付与するなど、認証企業の拡大に取り組めます。</p>						